

宮古発

磯の生物展

宮古の海に住む身近な生き物たちを集めた「磯の生物展」が宮古市の県立水産科学館で開催されています。震災で大きな被害を受けた三陸の海ですが、生き物たちは津波にも負けずその命をつなぎ、磯の生物展も休むことなく毎年を続けています。この展示会は8月21日まで開かれています。(7/21 ニュース)



宮古発

船の調理師について学ぶ

海の貴婦人と称される大型帆船「海王丸」が宮古に入港し、船内では宮古水産高校食物科の2年生が船で働く調理師の仕事について学びました。日本の物流を支える海運業は将来的に船員不足が懸念されていて、特に若い調理師の人材確保が課題となっています。この海王丸には船首に宮古のケヤキで作られた像「紺青」が取り付けられています。(7/22 ニュースエコー)



陸前高田発

希望の灯りを国体の炬火に

希望郷いわて国体のビーチバレーボール会場になっている陸前高田市で、東日本大震災の年に阪神淡路大震災の被災地・神戸市から贈られた「希望の灯り」を国体の炬火にする採火式が行われました。式では戸羽太市長と竹駒小学校3年の吉田諒平くん、高田高校女子バレー部の熊谷李来さんの3人が灯りをトーチに移し、炬火台に点火しました。デモンストレーション競技のビーチバレーは、8月28日に行われます。(7/23 ニュース)



陸前高田発

海上から慰霊

陸前高田市の広田湾で行方不明者の家族など41人が海の上から祈りを捧げました。この「海上からの祈りの会」は釜石海上保安部の協力で行われたもので、8キロほど沖合で釜石海保の巡視艇「きたかみ」から汽笛とともに献花をし、黙とうを捧げました。陸前高田市では未だ204人の行方が分かっていません。(7/24 ニュース)



大船渡発

市整備の災害公営住宅

大船渡市がUR都市機構の協力で建設する14か所の災害公営住宅が全て完成しました。最後に完成したのは大船渡町の50戸が入る災害公営住宅、市営野々田アパートです。現地では記念式典が行われ、URの森本剛岩手震災復興支援本部長から戸田公明市長に鍵のレプリカが渡されました。市内では他に県営の公営住宅も整備されていて盛町に建設中の58戸の完成をもって、計画していた市営・県営あわせて27か所801戸の整備が完了します。(7/27 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)
今週は、大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが「三陸・大船渡夏まつり」について伝えてくれました。8月5日(金)は海上七夕が湾内を巡航、6日は復興グルメフェスティバルが行われ、食べ歩いて投票する楽しみもあるという事です。また夜には8千発の花火大会もありますと話していました。



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122